

九州各地で雨による被害が発生しています。被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。長く降り続けているこの雨ですが、農業にもさまざまな影響が出てくると予想されます。

当社では、各農業に関する今後予想される影響を個別にまとめ、ご紹介してまいります。

【施設園芸】

- ①育苗期であれば軟弱徒長や根腐れ、根痛みが予想されます。
- ②育苗を露天でされている場合病気の感染リスクが高まります。
- ③また栽培中の作物には日照不足による生育悪化が予想されます。

軟弱徒長・日照不足対策として、**ペンタキープ**などの ALA（アミノレブリン酸）入り液肥やバイオスティミュラント**リダバイタル**の使用をおすすめします！

ペンタキープに含まれる ALA は、光合成に必要な葉緑素を増加させる効果が期待できます。また**アルギニン酸**という新陳代謝を促進する作用もありますので、回転率をあげることができます。

リダバイタルには**ベタイン**という温度ストレスを回復する成分と、日照不足を回復する様々な**アミノ酸**でできています。

根腐れ、根痛みは水が乾かない状況から発生します。水はけをよくするため **MOX** などの酸素剤や、発根と耐病機能がある**セルエナジー**の使用をおすすめします！

MOX は酸素を土壌・床土に供給することで、根の酸欠を予防し、通気性を向上させます。これにより水はけも良くなり、発根できる状態にします。

セルエナジーに含まれるビール酵母は免疫効果があり、その効果から発根にもつながるといったこれまでにない液体肥料です。

